

## 日本の選択と国策

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

世界の現実へ国家の選択は必ず要求される。選択は、国家の未来である。

これは宰相の決定であり、国策は唯一国家の未来なのである。世界の現実には新しい技術における未来を模索し、新しい世界情勢は、その激しい変化を有するのである。

日本において、これら新しい現実への参加は遅れたのである。しかし未来という現実には猶予を与えないのである。

これらはさらなる変化を未来に模索するのである。そのため選択という現実には自国における新しい現実を世界へ行うものなのである。

日本が世界ビジョンを世界へ提示することは、必ず可能である。これらは世界の現実へ、新しい現実の提案を得るものである。

日本の有するプレゼンスは大きいのである。経済力と軍事力は、世界の現実を変化させることができるのである。そのためアメリカは決して手放したくないのである。

これは、日本が世界をリードできることを意味するのである。この真実は独自ビジョンと行動が、現実において世界における全ての国家の新たな選択を要求することができるのである。

これらはアングロサクソンミッションと自由主義から、新しい理念と世界ビジョンにおいて、世界への歩みを求めるとき、現実には新たな選択を与えられるのである。

これらは東洋の新たな日の出が、新しい未来という選択において存在することを意味するのである。

これらは新たな融和と対立は、世界の変化への大きな投石であり、現実変化は今日の二分化する世界において、第三の選択を世界へ与えることができるのである。

これら大きな可能性は自らの行動からいであるのである。